NIE実践報告

1．タイトル：**新聞を通じて社会的事象（時事問題）に興味関心を持とう**

2．学校名

京都府京都市立西京高校附属中学校

3．実践者名（代表者名）

河合祥太

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　360人

6．単元（本時の学習課題）名

発展的学習（家庭学習）

7．目標(狙い)

新聞を通して社会的事象（時事問題）に興味関心を持たせ、そこからより深く考えたり、教科書に載っている事象と関連づけて理解させる。

8．評価の視点

社会科のレポートとしてふさわしい記事が選ばれているかどうか。事象に対する自分の考えが深められ、論理的に思考し、表現されているかどうか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

家庭学習なので授業時数に入れていない。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

回数）月に1回程度、夏休み等は2枚程度または新聞社主催のスクラップコンクール出品
評価）評価の基準の客観性、明確性、そのための優秀作品の紹介

11．児童・生徒の反応、感想・意見

回数を重ねていくにつれて、適切な記事を選択する生徒が増え、模範例を紹介することにより、レポートの内容も少しずつ高められていった。最初はじゃまくさがっていた生徒もいたようだが、この課題を通じて新聞を読む習慣がついていったようである。

12．成果と課題

（成果）
・生徒が時事問題に興味関心を持つようになった。
・教科全体にも広がりが出てきた。
（課題）
・生徒の家庭学習の時間の負担増（他の教科との重なり）の問題。
・評価のための時間の確保（レポートを読む時間）。